

平成17年度
総会・第1回研究協議会

日 時：平成 17 年 6 月 3 日（金）
13 時 30 分～15 時 30 分
会 場：東京文化会館 4F 会議室

関東地区公立中学校修学旅行委員会
(事務局：財団法人全国修学旅行研究協会)

出席者名簿 (敬称略)

副会長	田中 啓康 (銚子市立第四中学校長)
運営委員長	中山 邦男 (長野原町立西中学校長)
運営副委員長	森 收 (流山市立南流山中学校長)
運営委員	鯉淵 茂 (水戸市立双葉台中学校長)
運営委員	會澤 勤 (水戸市立石川中学校長)
地区委員	藤倉 慎一 (筑西市立下館西中学校長)
運営委員	中山 一郎 (宇都宮市立陽東中学校長)
運営委員	鈴木 希一 (上河内町立上河内中学校長)
研究委員	柴 久子 (小山市立絹中学校長)
地区委員	落合 裕行 (野木町立野木中学校長)
地区委員	加藤 茂 (佐野市立常盤中学校長)
運営委員	中島 智雄 (片品村立片品中学校長)
研究委員	治田 正 (沼田市立沼田西中学校長)
地区委員	土屋 力三 (伊香保町立伊香保中学校長)
運営委員	秋池 功 (吹上町立吹上北中学校長)
研究委員	富田 政博 (行田市立埼玉中学校長)
地区委員	西宮 貞夫 (幸手市立東中学校長)
地区委員	田村 純夫 (神泉村立神泉中学校)
運営委員	大久保雅從 (印西市立船穂中学校長)
地区委員	菊地 肆司 (千葉市立幕張本郷中学校長)
地区委員	柴田 克夫 (習志野市立第六中学校長)
地区委員	川尻 眞 (佐原市立新島中学校長)
地区委員	中村 哲弥 (市原市立湿津中学校長)
全修協	中西 朗 (財団法人全国修学旅行研究協会理事長)
"	池田 正行 (" 事務局長)
"	久保 行正 (" 研究部長)
事務局	吉野 憲二 (" 部長)

次 第

開会のことば	中山邦男	運営委員長
あいさつ	田中啓康	副会長
		中西 朗	全修協理事長

議 事

平成 17 年度委員会構成について	1
平成 16 年度活動の概況について < 報告 >	3
1. 会議の状況	3
2. 連合体輸送	3
3. 調査研究活動	5
4. 陳情要請活動	6
5. 他団体との連携	7
6. 各県修学旅行委員会(部)事業報告	8
7. その他	13
平成 16 年度会計報告について	14
平成 17 年度活動計画について < 協議 >	15
1. 活動方針	15
2. 活動の大綱	15
(1) 会議体の日程等	15
(2) 連合体輸送計画	16
(3) 調査研究活動	17
(4) 陳情要請活動	18
(5) 他団体との連携	19
(6) その他	19
3. 予 算	19
その他	20

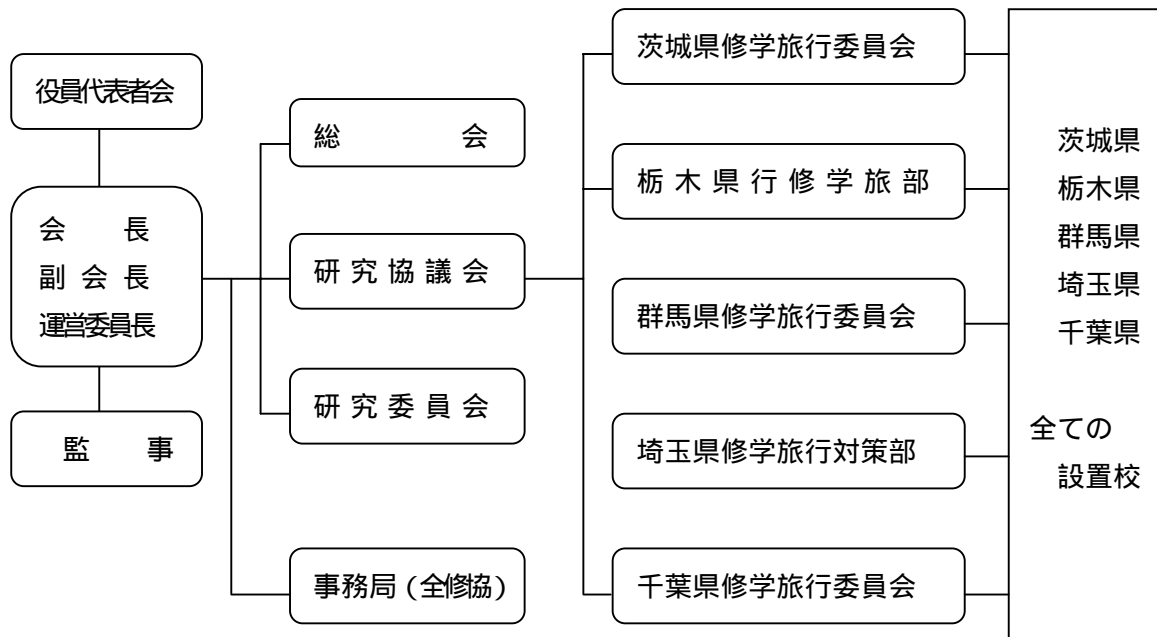
閉会のことば	森 收	運営副委員長
--------	-------	-----	--------

平成 17 年度委員会構成について

関東地区公立中学校修学旅行委員会 組織機構図及び構成

2005.06.03

(1) 組織機構図



(2) 構成

会長	1名(ローテーションによる該当県の校長会長)
副会長	4名(各県校長会長)
運営委員長	1名(会長県から選出)
運営委員	9名(各県2名、但し会長県の運営委員長を含む。次期会長県の1名は運営副委員長)
研究委員	10名(各県1名及び運営委員のうち1名は研究委員を兼ねる)
地区委員	定数なし
事務局	若干名(内1名を関修委事務局長とする)

運営委員、研究委員が会議に出席できない場合、必ず代理者を出席させるものとする。

平成 16 年度活動の概況について（報告）

1. 会議の状況

総会・第 1 回研究協議会、第 1 回研究委員会	6 月 3 日(木)	東京文化会館
第 2 回研究協議会、第 2 回研究委員会	9 月 30 日(木)	東京文化会館
第 3 回研究協議会、第 3 回研究委員会	10 月 22 日(金)	東京文化会館
役員代表者会	2 月 10 日(木)	東京文化会館
第 4 回研究協議会、第 4 回研究委員会	2 月 25 日(金)	東京文化会館

2. 連合体輸送

(1) 平成 16 年度修学旅行新幹線輸送の実施

平成 16 年度修学旅行専用列車は、関西方面春期 3 コース、秋期 1 コース、東北方面 2 コースを延べ 149 日間運行し、780 校 116,182 人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。

本年度から、利用列車は「のぞみ号」となったが、特急料金は暫定的(16 年度実施分のみ)に従前の「ひかり号」料金が適用された。東海道新幹線・東北新幹線の特急料金 5 割減免を伴う計画輸送により 6 億 8 百万円余の保護者負担軽減を図ることができた。

県別・コース別の実施校数・人数、コース別運行期間は下表の通り。

なお、6 月 21 日の台風 6 号による線路への飛来物のため東海道新幹線が運転を見合わせ、A コース帰路の列車が運休となり、7 校 1,145 人は京都での延泊やバスでの帰京となった。さらに 6 月 30 日静岡県内の大雨の影響による東海道新幹線の運転見合わせで、往路列車の京都着の大幅な遅延、及び帰路東京着の列車の遅れにより乗り継ぎ列車の変更、臨時列車の出発時刻を遅らせての対応となった。

表 1 平成 16 年度修学旅行専用列車実施状況

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	40	6,615	98	14,237	3	151	219	35,443	98	15,956	458	72,402
B	87	11,629	22	2,246	36	3,069	46	6,776	33	4,319	224	28,039
C	2	264	0	0	0	0	44	7,428	39	5,974	85	13,666
秋期	0	0	0	0	0	0	10	1,761	0	0	10	1,761
関西合計	129	18,508	120	16,483	39	3,220	319	51,408	170	26,249	777	115,868
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北/山形	0	0	0	0	0	0	0	0	3	314	3	314
東北合計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	314	3	314
総合計	129	18,508	120	16,483	39	3,220	319	51,408	173	26,563	780	116,182

表2 コース別運行期間

	Aコース	Bコース	Cコース	東北、東北・山形
運行期間	4/17～7/3(除4/24～5/6)	5/7～6/2	春期 5/7～6/13 秋期 9/10～9/21	5/19～21 6/9～6/11

(2) 平成18年度修学旅行新幹線輸送計画の策定

ア．計画校数、人数

784校、115,369人(対前年-9校、同+406人)

イ．割付等の作成

5月からの設定、18年度ローテーション(埼玉 茨城・栃木・群馬 千葉)をもとに輸送計画を作成。

ウ．割付の決定

原案作成後、申込み校・割付予定日を各県修学旅行委員会(部会)でチェック、10月22日の第3回研究協議会にて18年度修学旅行の新幹線輸送計画を決定した。

エ．輸送計画書の作成・配付、発表

申込み校2部、独自実施校1部を配付。11月30日発表日とし、同日関修委ホームページに掲載した。

表3 平成18年度修学旅行専用列車申込み状況(17年5月11日現在)

県 コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	43	6,385	98	13,921	16	1,344	216	35,014	95	14,978	468	71,642
B	83	10,938	23	1,918	22	1,692	52	7,784	28	3,382	206	25,714
C	2	293	0	0	0	0	38	6,739	52	8,409	92	15,441
秋期	0	0	0	0	0	0	13	2,171	0	0	13	2,171
関西合計	128	17,616	121	15,839	38	3,036	319	51,708	175	26,769	781	114,968
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	3	299	3	299
東北/山形	0	0	0	0	0	0	0	0	2	263	2	263
東北合計	0	0	0	0	0	0	0	0	5	562	5	562
総合計	128	17,616	121	15,839	38	3,036	319	51,708	180	27,331	786	115,530

(3) JR各社との意見交換会について

開催日：平成16年10月22日 第3回研究協議会にて

内容：東海道新幹線について

継走列車について

その他

意見交換要旨 ... 「別紙1」

3. 調査研究活動

(1) 第40回修学旅行研究発表会の開催

- ア. 開催日 平成16年11月5日(金)
- イ. 会場 ホテルレイクビュー水戸(水戸市)
- ウ. 内容 大会主題 「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」
- ・ 関修委の調査研究及び活動報告
 - ・ 実践研究発表
「修学旅行における国際交流学習の一端」
 - 「Why don't you come to Suifu?」郷土紹介のガイドブックを携えて -
茨城県水府村立水府中学校 古内 勝紀 教諭、棚井 義広 教諭
 - 「集団づくり及び総合的な学習の時間の場としての修学旅行の在り方」
 - 中学校3か年の旅行・集団宿泊的行事の実践的取り組みを通して -
茨城県水戸市立第四中学校 一色 三千男 教諭
 - ・ 研究協議、指導講評
- エ. 参加者 関東5県の校長、教諭216名(栃木県29名、茨城県150名、群馬県5名、埼玉県9名、千葉県19名、全修協4名)
- オ. 参加者のアンケートまとめ ... 「別紙2」

(2) 研究委員会の活動

ア. 平成16年度 研究委員会事業報告

1 事業の計画

月日	事業名	内 容
6月3日(木)	第1回研究委員会	・平成16年度の研究調査内容について 実施状況調査、関修委研究発表会の在り方についての研究・提言 調査時期・方法 結果のまとめ報告
6月～7月	修学旅行等の実施状況について ・(アンケート)	・実施概況 ・修学旅行での体験学習について ・学校2学期制の導入と修学旅行の動向について ・よりよい連合体計画輸送、要望等
9月30日(木)	第2回研究委員会	・平成16年度の研究調査について データの考察とまとめの方向
10月22日(金)	第3回研究委員会	・平成16年度研究調査のまとめについて 報告書の提示
11月5日(金)	第40回関修委 研究発表会	・関修委研究委員会報告 ・実践校発表
2月25日(金)	第4回研究委員会	・平成16年度研究委員会の総括 ・平成17年度活動方針について

2 反省と課題

研究委員会

・研究内容

体験活動と2学期制に視点をあてたタイムリーな内容であった。

修学旅行に対する全体的傾向、動向がわかるものであった。

よりよい連合体輸送の在り方について、アンケート集計結果を集約し、ＪＲ東海、ＪＲ東日本へ要望書を提出、第３回関係修学委研究協議会にて意見交換ができた。

２学期制への取り組みについての継続調査を。

・開催時期

研究委員会が短時間ながら、研究協議の前(午前中)に設定されよかった。

アンケートの集計が膨大であった。

研究発表会

・活動報告

修学旅行に関する各県の実践内容がわかる詳細な資料で、今後の参考になる。

今後も、集計・分析・考察を継続してほしいとの声。

ＪＲへの要望の回答もほしい。

・研究発表

これからの修学旅行を考える上で大変参考になった。(アンケート 100%)

両校とも、修学旅行のねらいが明確で、取り組み方法、実践がすばらしい。

学校規模による特色ある取り組みがされていて、大変参考になった。

発表についてよく意見が出されてよかった。

・その他

スムーズな運営でよかった。(アンケート 95.2%)

交通の便もよく、快適な会場であった。

他県の参加者が少ないのでは?との意見。

実際に修学旅行の計画を立てる教諭の参加を多くしては。

会場に集まらずに、資料の配付、ホームページでの掲示でよいのでは。(1名)

(3) 愛知県修学旅行現地視察会

ア．実施月日：平成16年8月24日(火)～25日(水) 2日間

イ．参加者：19名(茨城県4名、群馬県1名、埼玉県7名、千葉県4名、事務局2名、全修協1名)

ウ．視察先：愛知県内 詳細は、9月30日開催の第2回研究協議会に報告、あわせてホームページに掲載した。

4. 陳情要請活動

(1) 平成17年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

ア．陳情先・月日

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課 8月5日(木) 午前

財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 8月5日(木) 午後

イ．陳情者(5団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会、東海三県中学校修学旅行委員会

近畿地区公立中学校修学旅行委員会、あおぞら号近畿地区運営協議会

財団法人 全国修学旅行研究協会

ウ．陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護・準要保護家庭及び高度へき地（3級～5級地）の児童徒を対象に修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

表4 平成17年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(要保護家庭)

行事種別	学校種別	17年度 決定額(円)	要望額(円)	16年度 決定額(円)	
修学旅行	中学校	55,900	56,100	55,900	
	小学校	20,600	20,800	20,600	
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,840	5,940	5,840
		宿泊を伴わない場合	2,180	2,280	2,180
	小学校	宿泊を伴う場合	3,470	3,570	3,470
		宿泊を伴わない場合	1,510	1,610	1,510

平成17年度修学旅行費等の国庫補助金は、三位一体改革により、準要保護家庭への国庫補助金は地方自治体への交付金の中に含まれることになり、支給額は各自治体の裁量に移行された。

5．他団体との連携

(1) 第21回全国修学旅行研究大会

- ア．期 日：平成16年11月20日(土)
- イ．会 場：日本科学未来館(東京臨海副都心お台場)
- ウ．主 催：(財)全国修学旅行研究協会
- エ．主 題：「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」
- 修学旅行における自己発見 -
基調提案、実践発表、シンポジウム
- オ．参 加 者：135名(関修委では、5名の参加)

(2) 関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡会(全修協主催)

- ア．期 日 平成17年1月28日(金)
- イ．会 場 全日本中学校長会館会議室(東京)
- ウ．内 容 平成16年度三地区修旅連並びに各委員会の活動状況
平成17年度三地区修旅連の活動
情報・意見交換
- エ．出席者 近畿地区公立中学校修学旅行委員会 難波副会長、浦野運営委員
東海三県中学校修学旅行委員会 夏目運営委員長、森本三河地区代表
関東地区公立中学校修学旅行委員会 金澤会長、八木岡運営委員長
全修協 中西理事長ほか本部・大阪・名古屋各事務局職員

6 . 各県修学旅行委員会(部) 事業報告

6. 各県修学旅行委員会(部) 事業報告

平成16年度 茨城県修学旅行委員会事業報告

茨城県修学旅行委員長 八木岡 忠

1 事業報告

月	日	活 動 内 容	備 考・会 場
4	14	茨城県中学校修学旅行委員会事務引継	水戸市立第五中学校
4	28	県修学旅行委員会役員会	教育プラザいばらき
4	28	県修学旅行委員会総会 ・平成15年度事業報告・決算報告 ・平成16年度役員選出・事業計画案・予算案審議 県修学旅行委員会地区代表者・郡市代表者会 ・関東地区修学旅行研究発表会について ・関東地区修学旅行研究発表会の組織と運営について	教育プラザいばらき
6	3	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会及び第1回研究協議会	東京上野・東京文化会館
6	25	取りまとめ文書の送付 ・平成16年度修学旅行の実施状況について ・平成18年度修学旅行専用列車利用に関する調査・申込書	県内全中学校
7	15	文書取りまとめ ・平成16年度修学旅行の実施状況について ・平成18年度修学旅行専用列車利用に関する調査・申込書	県内全中学校
8	26	関東地区公立中学校修学旅行委員会第40回研究発表大会役員会	水戸市立見川中学校
9	1	第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会案内送付	都道府県教育委員会教育長, 市町村教育委員会教育長, 関東地区公立中学校長
9	6	県内各地区の研究発表会参加者要請文書送付	各地区代表者校
9	24	第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会実行委員会	レイクビュー水戸
9	30	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会及び第2回研究協議会	東京上野・東京文化会館
10	4	茨城・栃木合同修学旅行委員会	宇都宮・ホテルニューイヤ
10	12	第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会参加者取りまとめ	水戸市立見川中学校
10	22	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会及び第3回研究協議会	東京上野・東京文化会館
11	5	第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会 (220名参加) 茨城県内参加者 (151名)	レイクビュー水戸
12	3	修学旅行関係文書及び資料の送付 ・平成18年度新幹線輸送計画書	県内全中学校
1	28	関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会代表者会議	全日中・校長会館
2	10	関東地区公立中学校修学旅行委員会役員・代表者会	東京上野・東京文化会館
2	25	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会及び第4回研究協議会	東京上野・東京文化会館
2		県修学旅行委員会役員会・平成16年度会計監査	レイクビュー水戸

2 課題

- 修学旅行新幹線の計画輸送参加への理解と加盟促進
- 県修学旅行委員会の組織の確立

平成16年度 栃木県中学校長会修学旅行専門部事業報告

修学旅行専門部長 後藤 明

月	日	活 動 内 容	場 所
4	20	第1回栃木県中学校長会修学旅行専門部研修会 ・ 県役員選出、組織作り、事業計画、活動内容の検討 ・ 関東地区公立中学校修学旅行委員会役員選出	栃木県教育会館
6	3	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会並びに第1回研究協議会	東京
6	22	第2回栃木県中学校長会修学旅行専門部研修会 ・ 列車申込み、実施報告、研究発表会について	栃木県教育会館
7	15	平成18年度修学旅行輸送申込み及び修学旅行実施状況報告書のとりまとめ	各地区
9	30	関東地区公立中学校修学旅行委員会第2回研究協議会	東京
10	4	茨城県・栃木県合同修学旅行研究協議会 ・ 関東地区公立中学校修学旅行研究発表会について ・ JRへの要望について ・ 平成18年度修学旅行の新幹線輸送確認及び調整	宇都宮：ホテルニューイタヤ
10	22	関東地区公立中学校修学旅行委員会第3回研究協議会 JRとの意見交換会	東京
11	5	第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会	水戸
11	30	「平成17年度修学旅行新幹線輸送計画書」配布	各地区
2	10	関東地区公立中学校修学旅行委員会役員代表者会議	東京
2	19	関東地区公立中学校修学旅行委員会第4回研究協議会 ・ 年間事業活動反省と新年度対策	東京

平成16年度 群馬県修学旅行委員会活動報告

1 県修学旅行委員会関係

- 第1回県修学旅行委員会開催（5/12）群馬県生涯学習センター
 - ・平成15年度事業報告・会計報告
 - ・平成16年度組織編成・事業計画
 - ・その他
- 県内全中学校（中央中等教育学校を含む）に修学旅行専用列車申込書等送付（6/8）・集約（7/8）
- 県内全中学校（中央中等教育学校を含む）に修学旅行アンケート送付（6月下旬）・集約（7/20）・関修委に提出（7月下旬）
- 第2回県修学旅行委員会開催（7/22）沼田市立沼田西中学校
 - ・平成18年度修学旅行専用列車組み合わせ→関修委に報告
(7月下旬)
 - ・関修委の行事への参加について
 - ・その他
- 平成18年度の修学旅行輸送計画の点検・確認（10月）
- 県内全中学校（中央中等教育学校を含む）に第40回修学旅行研究発表会（茨城大会）要項送付（10月上旬）・集約（申し込み）
- 平成18年度修学旅行輸送計画書配布（11/25）
- 第3回県修学旅行委員会開催（3/2）群馬県生涯学習センター
 - ・本年度の県修学旅行委員会の年間活動総括
 - ・次年度の県修学旅行委員会の活動計画等
 - ・第41回修学旅行研究発表会に向けて
 - ・その他

2 関修委・全修協関係（会議・研究会等への参加）

- 関修委総会・研究協議会（研究委員会）参加（研究協議会は計4回）
- 役員代表者会参加2/10（委員長）
- JR各社との意見交換会参加10/22
- 第40回修学旅行研究発表会（茨城大会）参加11/5
- 愛知県修学旅行現地視察会参加8/24～25
- 第21回全国修学旅行研究大会参加11/20
- その他

平成16年度 埼玉県修学旅行対策部活動報告

修学旅行対策部

1. 活動方針

- (1) 修学旅行の教育性、安全性、経済性を追及し、有意義な修学旅行の実施を目指す。
- (2) 修学旅行の望ましいあり方（目的、内容、形態等）について研究を深める。
- (3) 関係諸機関や諸団体等と協議し、修学旅行の望ましい条件整備を図る。

2. 本年度活動計画

- (1) 安全・快適な輸送計画の作成
- (2) 修学旅行の実態調査の実施
- (3) 修学旅行に関する諸問題の協議
- (4) 修学旅行の研究発表の実施

3. 本年度の活動内容

- (1) 第1回修学旅行対策部員研修会（6月11日・吹上町立中央公民館・視聴覚室）

ア. 本年度の組織について

イ. 活動方針ならびに活動計画について

ウ. 関東修学旅行委員会報告連絡事項

- ・ 修学旅行輸送計画について
- ・ 修学旅行と部活動の大会の調整
- ・ 修学旅行研究発表校について（水戸）

エ. 平成18年度修学旅行新幹線専用列車申し込みについて

オ. 修学旅行対策部内での意見交換

- ・ 修学旅行と部活動の実施時期の調整を早めに行う。
- ・ 関東修委での修学旅行のメリット等について

カ. 愛知県修学旅行現地視察会の参加について（関東修委主催）他県も参加

(2) 愛知県修学旅行現地視察会の参加について

ア. 期日 平成16年8月24日～25日
(1泊2日)

イ. 内容 愛知県の修学旅行コースの一例の視察と愛知地球博の会場の視察及び意見交換を入れた研修

ウ. 参加者 校長 7名

- (3) 第2回修学旅行対策部員研修会（9月28日・吹上町立中央公民館）
 - ・ 平成18年度の新幹線専用列車申し込みの日程確認
 - ・ 関東修委研究発表茨城（水戸）大会の参加等
 - ・ 全国修学旅行研究会研究発表校の参加等
- (4) 修学旅行対策部と校長会事務局との意見交換会10月13日・ほまれ会館）一県中校長会長、副会長、事務局長、県中体連会長・副会長、関東修委事務局、対策部長、副部長—
- (5) 第三回関東地区修学旅行委員会（10月22日上野文化会館）
 - ・ JR 東日本・JR 東海との意見交換会等
 - ・ 18年度以降の輸送計画等について
- (6) 関東修委修学旅行研究発表会茨城大会参加（11月5日、ホテルレイクビュー水戸）
- (7) 日本修学旅行協会研究発表会（12月7日・於埼玉会館）
 - ・ 吹上町立吹上北中学校『生徒の自主性、主体的な活動を高める旅行的行事』
発表者・校長 秋池 功、
教諭 新井 龍也
- (8) 修学旅行対策部と校長会事務局との意見交換会（県中校長会長、副会長、事務局長、県中体連会長・副会長、関東修委事務局、対策部長、副部長）
 - ・ 17年度以降の修学旅行と部活動の日程調整等（生徒全員が修学旅行、大会ともに参加できることを目指して）

平成16年度千葉県修学旅行委員会事業報告

千葉県修学旅行委員会委員長 森 收

1 事業報告

月 日	内 容	会 場 等
5. 7	平成16年度役員選出及び組織編成 平成15年度活動報告及び16年度活動方針	県教育会館
6. 3	関東修学旅行委員会総会及び第一回研究協議会	東京文化会館
6. 14	関修委総会及び第一回研究協議会報告 16年度実施報告書の配布と説明 18年度専用列車申し込み関係書類配布戸説明	県教育会館
7. 14	16年度実施報告 18年度専用列車申し込み書の送付	各校→地区委員 →委員長
7. 27	17年度専用列車申し込み取りまとめ会議	南流山中学校
9. 30	関修委第二回研究協議会	東京文化会館
10. 7	18年度専用列車輸送計画点検と留意点共通理解	県教育会館
10. 22	関修委第三回研究協議会	東京文化会館
11. 5	第40回関東地区公立中学校修学旅行 研究発表大会参加	宇都宮市
11月下旬	17年度専用列車輸送計画・資料配布	(郵送)
2. 10	関修委役員代表者会議	東京文化会館
2. 25	関修委第四回研究協議会 千修委役員会 ・今年度の反省	東京文化会館

7. その他

(1) 資料・情報の提供

教材研究所 ... 修学旅行参考資料「関西の旅」等(関修委監修)

神戸市東京事務所 ... 神戸市震災学習関係

雇用・能力開発機構(わたしのしごと館) ... 職業理解・選択関係

2055年日本国際博覧会協会 ... 愛知万博関係

(2) 事務局の動向

事務局は、前述の各研究協議会・研究委員会等の活動に携わるとともに、各県の委員会に出席、また連合体利用の拡大等を兼ねて校長会等を以下のとおり訪問した。

5月12日 群馬県中学校長会総会(前橋市)

6月4日 富津市校長会、6月9日袖ヶ浦市校長会、7月6日千葉市校長会

6月14日・7月27日・10月7日 千葉県修学旅行委員会、

6月11日・9月28日・1月19日 埼玉県修学旅行部会

10月4日 茨城県・栃木県合同修学旅行委員会

10月13日 埼玉県中学校長会事務局

平成 16 年度会計報告について

< 自平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日 >

収入の部

(円)

勘定科目	項目	予算額	収入額	差異	摘 要
助 成 金	全修協助成金	2,646,500	2,646,500	0	(財)全修協委員会運営費
収入合計		2,646,500	2,646,500	0	

支出の部

(円)

勘定科目	項目	予算額	支出額	差異	摘 要
会 議 費	総会・第 1 回研究	300,000	230,000	70,000	会場費・出席者交通費・懇親会費
	研究協議会・研究委員会	300,000	254,352	45,648	会場費・出席者交通費・飲み物代
	研究発表会	500,000	634,943	134,943	会場費・設営費・資料作成費
	その他会議等	100,000	27,200	72,800	役員代表者会・出発式・陳情等交通費他
	小 計	1,200,000	1,146,495	53,505	
交 通 費	事務局交通費	50,000	72,270	22,270	事務局出張交通費
	小 計	50,000	72,270	22,270	
通信運搬費	通信連絡	50,000	62,799	12,799	郵便料金・宅急便料金
	小 計	50,000	62,799	12,799	
印刷製本費	輸送計画書	300,000	364,875	64,875	輸送計画書
	実施状況調査	100,000	38,325	61,675	実施状況調査票等・報告書
	その他印刷	0	55,650	55,650	関修委封筒
	小 計	400,000	458,850	58,850	
助 成 金	各県助成金	946,500	946,500	0	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉各県
	小 計	946,500	946,500	0	
支出合計		2,646,500	2,686,914	40,414	

収支の部

(円)

収入合計	2,646,500
支出合計	2,686,914
収支合計	40,414

収支差額は全修協より補填。

上記の通り報告いたします。

平成 17 年 5 月 21 日

事務局 吉野 憲 二

平成 17 年度活動計画について < 協議 >

1. 活動方針

修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。

連合体輸送ののぞましい在り方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。

関係機関・団体と連携・協議し、のぞましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動の大綱

(1) 会議体の日程等

ア. 日程

	会議名	内 容	開催日	開始時刻	場所
総会・研究協議会	総会・第 1 回	年度計画の審議、決定	6 月 3 日(金)	13 時 30 分	東京(上野)
	第 2 回	輸送申込状況、輸送作成基準等の再確認他	9 月 3 0 日(金)	13 時 30 分	東京(上野)
	第 3 回	輸送計画の微調整と決定他	1 0 月 2 8 日(金)	13 時 30 分	東京(上野)
	役員代表者会	年間活動の反省と次年度大綱検討	1 8 年 2 月 9 日(木)	13 時 30 分	東京(上野)
	第 4 回	年間活動の反省と次年度計画	1 8 年 2 月 2 3 日(木)	13 時 30 分	東京(上野)
研究委員会	第 1 回	調査研究内容の検討	6 月 3 日(金)	11 時 00 分	東京(上野)
	第 2 回	調査データの分析・考察	9 月 3 0 日(金)	11 時 00 分	東京(上野)
	第 3 回	調査データの分析・考察、まとめ	1 0 月 2 8 日(金)	11 時 00 分	東京(上野)
	第 4 回	年間活動の反省と次年度計画	1 8 年 2 月 2 3 日(木)	11 時 00 分	東京(上野)
第 4 1 回研究発表会	実践研究発表等		1 1 月 1 日(火)	13 時 00 分	群馬(水上)

イ. 会議出席

総 会 : 役員、運営委員、研究委員、地区委員

役員代表者会 : 役員、各県委員長

研究協議会 : 役員、運営委員、研究委員

研究委員会 : 研究委員、各県運営委員 1 名

ウ. 各県別分担事項一覧(平成 17 年 ~ 21 年)

項 目	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
会長選出県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県
運営委員長	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県
〃 副委員長	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県
研究発表県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県

(注) 平成 15 年度全日中茨城大会開催のため茨城県は栃木県と交替し、次年度以降は予定のローテーションに戻るため、平成 20 年度は茨城県が会長・研究発表等の主体となる。

(2) 連合体輸送計画

ア．平成 17 年度修学旅行新幹線輸送の実施

表 5 平成 17 年度修学旅行専用列車状況

	A		B		C		秋期 C		東北		合 計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
茨城県	40	6,163	87	11,292	2	261	0	0	0	0	129	17,716
栃木県	98	13,681	23	2,364	0	0	0	0	0	0	121	16,045
群馬県	6	346	32	2,657	0	0	0	0	0	0	38	3,003
埼玉県	175	28,009	79	11,260	57	9,891	7	1,139	1	142	319	50,441
千葉県	114	17,535	33	3,885	35	5,827	0	0	4	511	186	27,758
合 計	433	65,734	254	31,458	94	15,979	7	1,139	5	653	793	114,963

表 6 平成 17 年度コース別運行期間

	A コース	B コース	C コース	東北、東北・山形
運行期間	5/10～7/9	5/10～6/8	春期 5/10～6/25 秋期 9/12～9/20	5/16～5/21 6/1～6/3

イ．出発式の開催

運行の安全等を祈念し、東京駅 15 番線ホームにおいて出発式を実施。

期 日 平成 17 年 5 月 10 日(火)

乗車校 A コース 茨城県:土浦第四中・荃崎中・牛久第一、栃木県:一条中・国本中・
晃陽中・南摩中・皆川中・明治中 合計 9 校 1,089 人

出席者 6 校の引率責任者・生徒代表、関修委・全修協・JR

ウ．平成 19 年度修学旅行新幹線輸送計画の策定

設定月・コース

a. 設定月: 5 月連休明け(5 月 8 日頃目安)からの実施とし、7 月上旬頃出発終了を目安とする。

b. コース:【関西方面】 A、B、C、秋期 C の各コース

【東北方面】 東北、山形、東北・山形併用の各コース

新コースの設定

【信州・上越方面】長野新幹線・上越新幹線利用コース

【関西方面】4 月特別コース(定期混乗)

県別ローテーション

A、B コース 千葉県 埼玉県 茨城県、栃木県、群馬県

C コース 千葉県 埼玉県 茨城県、栃木県

秋期関西コース 千葉県 埼玉県 茨城県

輸送計画の発表

平成 17 年 11 月 30 日(水) 同日、ホームページにも掲載。

輸送計画書の作成

申込みから発表までのスケジュール

月日	会議名	内容	備考
6月3日(金)	総会・第1回研究協議会	大綱決定	新幹線専用電車輸送申込み・計画の概要
6月中旬～8月中旬頃	県修学旅行委員会(部会)	輸送申込み手続き等	申込み関係書類の配付、申込み受付、申込み集計と事務局への集計連絡 申込み締切 7月20日(水) 申込み集計の事務局送付 8月10日(水)
8月下旬～9月下旬頃	事務局	輸送計画原案作成	輸送計画基準、ローテーション・県別留意事項に基づき組合せ原案作成
9月30日(金)	第2回研究協議会	原案提出	申込み状況報告並びに新幹線輸送計画事務局原案提出
9月下旬～10月中旬頃	県修学旅行委員会(部会)	確認等	申込み校及び輸送計画案の組合せ確認等
10月28日(金)	第3回研究協議会	決定	新幹線輸送計画の微調整、決定
11月30日(水)	事務局	発表	各校へ輸送計画書を配付 関修委ホームページに掲載
18年2月9日(木)	役員代表者会	次年度活動の基本方針	-
18年2月23日(木)	第4回研究協議会	・次年度輸送計画の基本方針 ・次年度輸送申込み、計画基準について	-

平成 19 年度輸送計画要項等 ... 「別紙 3」

(3) 研究調査活動

ア. 第 41 回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

期 日 平成 17 年 11 月 1 日(火)

開 催 地 群馬県水上町・水上館

大会主題 『修学旅行における「学び」の創造』

内 容 関修委活動報告

実践研究発表(2校) 渋川市立金島中学校、沼田市立薄根中学校

研究協議

指導講評

そ の 他 学校長のみならず、学年主任、旅行担当者等広く一般教員の参加拡大を図る。

イ．研究委員会

実態調査のみならず、修学旅行の在り方、研究発表会のテーマ・在り方等を追究。

○平成 17 年度調査内容... 17 年度修学旅行の実施状況、 修学旅行における危機管理調査票(案) ... 「別紙 4」

ウ．現地研修会

愛知県修学旅行現地研修会

趣 旨：モノづくりの地として日本の産業技術の発展に寄与した愛知県の学習箇所・内容を直接見聞、体験し、新しい修学旅行方面としての研究調査を目的とする。

企 画：関東地区公立中学校修学旅行委員会

協 賛：愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、財団法人全国修学旅行研究協会

期 日：平成 17 年 8 月 2 日(火)～4 日(木) 3 日間

対 象：関東地区中学校の先生方

実施要綱：「別紙 5」

環境学習セミナー

趣 旨：環境問題は、人類の将来の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題である。今、学校教育にとって、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけた児童生徒の育成が欠かせない。この意味から、修学旅行を通して環境問題を考えることも大切な課題であると考え。秋田県白神山地、熊本県水俣市において環境教育に関する指導内容・指導手法に関する先生方の研修セミナーである。

開催コース A.秋田県「白神環境学習セミナー」

B.熊本県「第 2 回水俣環境学習セミナー」

期 日：いずれも平成 17 年 8 月 18 日(木)～20 日(土) 3 日間

企 画：財団法人 全国修学旅行研究協会

後 援：関東地区公立中学校修学旅行委員会、各開催地県市・観光連盟

対 象：関東地区・首都圏の中学・高等学校教員

実施要項：「別紙 6」

(4) 陳情要請活動

ア．平成 18 年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

国の三位一体改革により、17 年度から準要保護家庭分については一般財源として地方自治体の交付金に含まれることとなった。今後の陳情については、改革の動向を見極めながら陳情を行う。

イ．連合体輸送に関する改善要望

第 3 回研究協議会において、J R 東日本、J R 東海との意見交換会を予定する。

ウ．その他

(5) 他団体との連携

ア．第 22 回全国修学旅行研究大会

期 日：平成 17 年 11 月 12 日(土)
会 場：日本科学未来館(東京・お台場)
主 催：財団法人 全国修学旅行研究協会
後 援：文部科学省ほか
主 題：『修学旅行における「学び」の創造』

イ．関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡会

期 日：平成 18 年 1 月 27 日(金)
会 場：全日本中学校長会館(予定)
主 催：財団法人 全国修学旅行研究協会
出席者：関東地区、東海三県、近畿地区の修学旅行委員会代表者各 2 名及び全修協

(6) その他

ア．資料・情報の提供

「関西の旅」、その他修学旅行受入れ機関・団体の資料情報の機会提供

イ．PR 活動について

ウ．その他

3．予 算

(1) 平成 17 年度収支予算案

収入の部

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	差異	摘 要
助 成 金	全修協助成金	2,542,500	2,646,500	104,500	(財)全修協委員会運営費
収入合計		2,542,500	2,646,500	0	

支出の部

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減()	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 研究委員会	600,000	700,000	100,000	会場費、交通費、飲物代
	研究発表会	500,000	500,000	0	会場費、設営費、資料作成費
旅費交通費	事務局交通費	50,000	50,000	0	各県出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議・資料等郵便・宅急便料金
印刷製本費	印刷費	400,000	400,000	0	輸送計画書、研究関係印刷物
助成金	助成費	942,000	946,500	4,500	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,542,000	2,646,500	104,500	

収支の部

収入合計	2,542,000
支出合計	2,542,000
収支合計	0

(2) 各県修学旅行委員会(対策部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。

ア．県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数 × 500円)

研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

連合体校数は16年度第4回研究協議会開催日時点(18年度計画校)の校数とする。

(単位：校、円)

県名	定額 (A)	連合体校数	助成金額 (B)	研究発表県 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	127	63,500	-	163,500
栃木県	100,000	121	60,500	-	160,500
群馬県	100,000	38	19,000	50,000	169,000
埼玉県	100,000	318	159,000	-	259,000
千葉県	100,000	180	90,000	-	190,000
合計	500,000	784	392,000	50,000	942,000

イ．助成金額決定日及び支払日

総会・第1回研究協議会で決定し、6月末日までに各県へ送金予定。

その他

(1) 輸送計画の変更

輸送計画策定後、以下の変更が生じた。

年度	コース	学校名	申込み人数	変更内容/新設定日
18年度	B	成田市立豊住中学校	17人	新規申込み 5/22(水)
	B	鹿嶋市立平井中学校	130人	新規申込み 5/31(水)
	B	飯能市立名栗中学校	31人	新規申込み 5/31(水)
17年度	A	飯能市立吾野中学校	67人	新規申込み 7/5(火)